

平成 29 年度事業報告

I、植樹事業特定資産

1、大阪府「子どもライフサポートセンター」植栽一式

児童自立支援施設の改修に伴い、施設を利用する児童に安らぎを与えるためウッドデッキ通路の周囲に果樹を植えた。収穫した果実はジャムやクラフトづくりに活用し、子どもたちに自然の恵みを教える。 (50万円)

2、大阪府「安威川ダム」植樹一式

平成 32 年のダム完成に向けてダム湖畔にヤマザクラとイロハもみじの植栽を行い、周辺の景観を作ることでダム周辺の散策やハイキングを楽しめるようにした。平成 27 年度から始めて 3 年目の事業。累計でヤマザクラ 42 本、イロハモミジ 3 本。

(100万円)

3、大阪府「服部緑地」植栽一式

服部緑地の円形花壇は完成後 60 年が経過し施設の老朽化とともに魅力が失せてきている。現在立ち入り禁止になっているエリアを散策コースに改造し、低木を植えて、年間 600 万人の来園者に園路から花風景を楽しんでもらう。(500万円)

4、大阪府「万国博記念公園」植栽一式

万博公園内自然文化園に整備されている「東の広場」「桜の流れ広場」に既存の

桜

に加え、新たに 30 本ずつの桜を植栽して桜のボリュームをアップさせた。植栽に合わせてベンチを整備し、府民の憩いの場と新たな桜の名所へと公園をグレードアップさせた。(1,000万円)

5、大阪市「正蓮寺川公園」植栽一式

正蓮寺川を埋め立てた 18.8ha (幅 40~90m、長さ 2.5km) を 20 年かけて公園化する事業をスタートさせて 2 年目の植栽を行った。ソメイヨシノ、ムサシノケヤキ 27 本を中心に 1704 本を植えた。昨年は 507 本。(900万円)

6、大阪市「大桐小学校」植栽一式

平成 27・28 年に校舎の増築工事を行った際に樹木を撤去したため、工事完成後新たに植樹をし、緑化環境を向上させた。(400万円)

7、大阪市立大学「けやき通り」植栽一式

けやき、クスを植えた大通りが大型の木だけの単調な通りになっており、ここに山茶花、ロウバイ、クチナシなどの低木と、グラウンドをカバーするラベンダー、沈丁花などを植えることで香りと花の楽しめる四季感あふれる緑の環境を作った。

(200万円)

II、緑化事業積立資産

大阪府「中之島にぎわいの森づくり事業」植栽一式

中之島にぎわいの森のシンボルツリーとして、4本のドイツトウヒが植えられていたが（八軒家浜、中之島バンクス、ほたるまち、若松の浜）、5本目のシンボルツリーとして芝生広場にドイツトウヒを植えた。ドリカムとのコラボで植樹点灯式を行い、中之島のにぎわいに寄与した。作業車が入れないためクレーン船で樹を運び運搬費が予算を上回った。（350万円）

以上総合計	3,500万円
【内訳】	
植樹事業特定資産	3,150万円
緑化事業積立資産	350万円